

政宗の一生

- 1567年 伊達輝宗の嫡男として出羽国を生まれる。
- 1577年 元服し、父・輝宗に代わり伊達氏を継ぐ。宗と名を付けられる。
- 1581年 現在の宮城県伊具町の現地に初陣を飾る。
- 1586年 島山家を滅ぼす。
- 1589年 摺上原の戦いで、蘆名軍を破る。
- 1600年 長門守と戦い、羽州に戦う。政宗が勝利を収める。
- 1601年 仙台藩初代藩主となる。
- 1604年 大坂冬の陣に参加。
- 1636年 病に伏して死去。

日本の武将 戦国大名

関ヶ原の戦い

政宗が持っている酒桶直江軍が撤退し、伊達政宗が勝利を収めた。武勇、権力が際立って来たから勝負に出た。徳川にも太刀打ちできなれないと悟って、探る。政宗は臣従を誓った。その戦い方や潔さもまた、政宗のカッコいいところである。関ヶ原の戦いで東軍が勝利したことにより、



政宗は愛煙家、伊達政宗は煙草を吸う時にも、起末して一日3回と決めて吸っていた。政宗について調べてみよう。

伊達政宗

音更町立 共栄中学校
1年B組30番
米田 亘紀

独眼竜

右目を失明し、隻眼となったことから、「独眼竜」の異名がある。なぜ右目を失ったかというところ、虎患にかかってしまったからである。ま病はこの「虎患」という病を死ぬ人も多かったのを命をとりとめたためでも幸運ではないでしょうか。

仁に過ぐれば弱くなる

伊達政宗が残したとされる名言である。これは「伊達政宗遺言」としてとられている。この名言の意味は、「人を思いやる気持ちは大切だが、度を超えれば弱くなる」ということと説いてい

豊臣秀吉に臣従する前、長谷部には、およそ百四十万石を領有していたとされる。政宗は、豊後そのものは広かったのだが、石高としては、この数値となっていた。秀吉に臣従後、関ヶ原の直轄地は、およそ五十八万石程度とされていたが、

たった5年で直轄 114万石

「100万石のお墨付さ」といわれる所領知行約束手もちょうこと、家康にまかしてゐる。結局は、四万石ほどの加増で十二万石で江戸時代を迎えることになった。いろいろと小細工をしてきたが、およそ九十万石ほどあったとされている。

政宗の死

伊達政宗は、千六百三十六年七十歳を死した。死因は「金瘡腫瘍」による、急性腹膜炎であるといわれている。「伊達男」の名にふさわしく、臨終の際に、ままにも死に顔を見せたい心算であったという。



愛煙家



政宗は一日3回と決めて吸っていた。起床しすぐ、昼時、就業に吸っていたそう。健康にいいと信じていて、毎日規則正しく喫煙していた。

政宗は「健康オタク」が一面があり、70歳まで生き延びたのだから、かちたのかもしれない。

編集後記

今回、伊達政宗についていろいろ調べてみると、政宗がしたことなどがたくさんあることがわかりました。伊達政宗は右目を失いながらも、日本の歴史的な武將として活躍してくれた人だなと伊達政宗について調べてみるのを楽しめた。